



『We ♥ 鏡中』

令和7年 12月10日

☆彡「第17回人権週間」(令和7年12月4日～10日)

昭和23年(1948年)12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、初めて人権保障の目標ないし基準を国際的にうたった画期的なものです。宣言の採択日である12月10日は、「人権デー(Human Rights Day)」と定められています。そこで、昭和24年(1949年)から毎年、人権デーを最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」とし、人権について考える機会とされています。

本校でも「いじめ」の問題に対応することはもちろんですが、「いじめ」そのものをしない生徒を育てたいと考えています。そこで生徒会本部役員がアンケートを取るなどして人権集会を開催し、鏡中の人権宣言を提案しました。私は「赤鼻のトナカイ」を下手ですが歌いました。私自身が、クリスマスの時期にこの歌が流れてくると何とも言えない気持ちになり、自分を見つめ直しているので、そのことを生徒に伝えました。歌詞は、皆さんご存じだと思います。

『赤鼻のトナカイ』

真っ赤なお鼻のトナカイさんは いつもみんなの わらいもの
でもその年の クリスマスの日 サンタのおじさんは 言いました
暗い夜道は ピカピカの お前の鼻が 役に立つのさ
いつも泣いてた トナカイさんは 今宵こそはと 喜びました

私は、この歌を聴くと、いつも3つのことを振り返ります。

1つ目は、私は、トナカイさんをバカにして笑い者にする、「みんな」のようなことをしていないか？

2つ目は、トナカイさんのように、自分のコンプレックスや欠点と言われることを、見方を変えて長所ととらえ、頑張っているか？

3つ目は、サンタのおじさんのように、人の良いところを見ようとしているか？
という3つです。

私は、人の欠点がすぐに目につき、その人の良いところが見えなくなることがあります。だから、トナカイさんをバカにして笑い者にする、「みんな」のようなことをしていないか？と、知らず知らずのうちにもしてないかと自分の行動を振り返ります。

また、自分自身のことを、コンプレックスだらけ、欠点だらけの自分としか思えず、自分のことが好きになれない自分自身がいます。自己肯定感が非常に低いです。ですが、この歌を聴くと、人から欠点だと言われようが、自分自身コンプレックスに感じていようが、トナカイさんのように別の角度から見れば、その欠点やコンプレックスは長所となるのかもしれない。この歌を聞かたびに勇気をもらいます。

そして、サンタのおじさんのように、人の良いところに目をやることや、欠点と言われていても見方を変えれば長所になる、と考えることの出来る人になりたいと、この歌を聴くたびに思うのです。

この3つのことは、鏡中学校の皆さんにも機会あるごとに振り返ってほしいことです。

大切なことだからこそ、何度も自分にも、生徒にも問いかけたいと思います。